

松戸市長 本郷谷 健次殿

2013年5月10日

本郷谷市長、私たちの声を聞いて、  
緊急に認可保育所（園）を増やしてください。  
子どもも親も、待てません！

めざせ待機児ゼロ@松戸

わたしたちは、松戸市内に住み、働きながら安心して子育てしたいと、願ってきました。それなのに、この春だけでも保育所に申し込んでも入れない子が679人（2013年4月1日）と多く、申込者の約4割を超えているとのことで、泣き寝入りしない、この実態を何とか改善したいと「めざせ待機児ゼロ@松戸」として活動を始めました。グループでは、公園や保育園の前、駅などでママたちと対話し、切実な声を聞きました。（別紙参照）

そこで今日は、市に認可保育所への入所を拒否され、働けず困っているママたちの苦しみ、無認可保育園の高い保育料に苦しむ親たちの暮らしや経営者の苦悩、孫を託された高齢者の不安、入れても定員オーバーで150%を超える保育園と知ったときの親の気持ちなど・・ぜひ、きいて欲しくて、お時間をとって頂きました。こうした環境が、子どもたちの豊かな成長や発達をはばみ、放射能問題に続き若い世代の松戸離れに拍車をかけることになりはしないでしょうか。

本郷谷市長は、3年前の市長選挙の55 マニフェストで、「保育園の待機児童ゼロに」、「住んでいるみなさまが子どもを産みたいと思える町、子育てするなら松戸に移り住みたいと思われるような《子育て日本一のまち》を創ります」と、公約されました。市長は、今のこの実態を、どう感じておられますか。また、改善のためにどんな対応をされたのか、教えて下さい。

他の自治体では、緊急にさまざまな措置がとられています。松戸市でも、下記のとおり、緊急に解決して頂き、市長の決断で、子育て日本一の松戸、にして下さるよう、どうかよろしくお願い致します。

#### 記

- 一、不足している認可保育所（園）を、公有地も活用し、大幅に増設して下さい。  
この春以降入所出来なかった子どもたちのために、緊急措置を講じてください。
- 一、認可保育所（園）での定員オーバーによるいわゆる「つめこみ」はやめて、誰もが安心できる保育環境をつくってください。
- 一、認可に入れず無認可にというケースも多いことから、市として無認可の実状を把握し、保護者や施設に対する必要な支援策を、早急に検討してください。

以上